

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
平成30年度 第5回情報共有会合議事概要

1. 日時：平成31年3月14日(木) 15:00～16:30

2. 場所：札幌第1合同庁舎10階第3・4会議室

3. 出席者 31名

北海道開発局、北海道地方環境事務所、札幌管区気象台(2名)、第1管区海上保安本部、陸上自衛隊北部方面総監部(2名)、北海道(3名)、北海道立総合研究機構、札幌市(2名)、日本測量協会北海道支部(2名)、北海道測量設計業協会、北海道産学官研究フォーラム(2名)、日本写真測量学会北海道支部、Digital北海道研究会(2名)、スペーシャリストの会、北海道G空間情報技術研究会、北海道VR推進協議会、建設コンサルタンツ協会、Envision環境保全事務所、国土地理院(5名)

4. 議事

- (1) 地図の利用手続のあり方検討について
- (2) 北海道VR推進協議会の活動紹介
- (3) 北海道産学官研究フォーラムにおける防災情報部会の取組み
- (4) 清田区里塚地区の市街地復旧に向けた取組みについて
- (5) 話題提供
- (6) その他

5. 配付資料

- (1) 事務局
 - ・議事次第
- (2) 発表資料
 - ・地図の利用手続のあり方検討について(国土地理院地理空間情報部)
 - ・北海道VR推進協議会の活動紹介(北海道VR推進協議会)
 - ・北海道産学官研究フォーラムにおける防災情報部会の取組み(北海道産学官研究フォーラム)
 - ・清田区里塚地区の市街地復旧に向けた取組みについて(札幌市建設局土木部)
- (3) 話題提供
 - ・第5回防災情報セミナー(北海道産学官研究フォーラム)
 - ・第2回平成30年北海道胆振東部地震・地理空間情報活用懇談会(北海道産学官研究フォーラム)
 - ・第8回産学官CIM・GIS情報交換会(産学官CIM・GIS研究会)

6. 議事概要

今回の会合は、次の4課題の発表を行った。

- (1) 国土地理院地理空間情報部から、測量行政懇談会において地図の利用手続のあり方について検討が行われ、提言を取りまとめたが、その提言の概要について報告がなされた。行政がまとめる報告書に地図を挿入する場合の申請の要否、出所明示について質問があり、折り込み地図以外の書籍への挿入は申請不要、また、出所明示については現在検討中であるとの回答がなされた。
- (2) 北海道VR推進協議会から、北海道VR推進協議会の概要、活動内容とともに、各分野における活用事例について、デモンストレーションを交えた紹介がなされた。3Dモデルのオープン化について、どのようなライセンスで考えているのかという質問があり、現時点では協議会の会員登録をされた方への提供を考えているとの回答がなされた。
- (3) 北海道産学官研究フォーラムから、北海道産学官研究フォーラムにおける防災情報部会について、設立趣旨、関係機関との連携状況、最近の取組状況等について報告がなされた。
- (4) 札幌市建設局土木部から、清田区里塚地区の市街地復旧に向けた取り組みについて報告がなされた。今回の地面の動きに伴う境界の復元に関して質問があり、現在調整中である旨の回答がなされた。

7. その他

- ・北海道産学官研究フォーラムから、第5回防災情報セミナー(3月20日)、第2回平成30年北海道胆振東部地震・地理空間情報活用懇談会(3月25日)について案内がなされた。
- ・産学官CIM・GIS研究会から、第8回産学官CIM・GIS情報交換会(4月16日)について案内がなされた。
- ・平成31年度第1回情報共有会合は5月下旬～6月上旬に開催予定。